

南イリノイ大学と提携 新しい留学の形

2020年9月 オンライン留学プログラム スタート

～日本にいながら現地学生、地域住民と交流が可能に～

麗澤大学(千葉県柏市/学長：徳永澄憲)では、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、2020年4月以降の海外留学中止を決断しました。再開の目途はまだたっていません。

しかしながら本学は国際性にこだわる小規模大学であり、留学を夢見て入学してくる学生も多くいます。そんな学生たちがこのような状況下においても、主体的に学べる環境を整えるため、「海外留学の代替」となる授業を提供することを目的として“Community Engagement Program”の2016年度以降入学者用履修規程への科目追加をすることを決定しました。

“Community Engagement Program”は、アメリカの南イリノイ大学 CESL (Center for English as a Second Language)が提供する授業をオンラインで開講するもので、現地の人々との交流を可能にした擬似的な海外留学プログラムです。

本プログラムでは地元で環境問題や女性問題等に取り組んでいるゲストスピーカーとの交流を通じて、コミュニティーの抱える様々な問題について学び、考察を深め、地域の環境や人々の生活をどのように向上させるかを議論します。日本にいながらにして南イリノイに住む地域の方々とふれあいながら、社会貢献とは何かについて学ぶ、貴重な文化交流の場となることが期待されます。

外国語学部の教授で学部長の千葉庄寿(ちば しょうじゅ)教授は『このプログラムの導入は「学びを止めない取り組みの一つ」です。コロナ禍で留学ができずに学びの場を失ったと感じる学生に対し、引き続き出来る限りの支援をし、新しい学びの場を提供していこうと考えています。』とコメントしています。

本プログラムの導入が海外留学を希望する学生たちの学修意欲をさらに高め、学びを止めることなく、前向きに大学生活を送るきっかけや手助けになることを祈っています。

【「南イリノイ大学提供 オンラインプログラム」概要】

- 授業形態：遠隔授業 (Zoom などのオンラインツールを活用した形式)
- 期間：週5日(月～金)×3週間のプログラム (日本時間 21:00～23:00 開講)
- 対象：外国語学部の2年次～4年次
- 総時間数：30時間
- 参加条件：TOEIC スコアによる参加制限あり(400点以上)
- 費用：\$300

【麗澤大学について】

麗澤大学は昭和10年、創立者の廣池千九郎(法学博士)が「道徳科学専攻塾」を現在のキャンパス(千葉県柏市光ヶ丘)に開塾したことから始まります。心豊かな人間性を養い、国際社会に貢献できる人材の育成をめざし、今では大学・高校・中学・幼稚園を開設しています。また留学生の受け入れも積極的に行っており、キャンパスには世界約30の国・地域から留学生が集まり、さまざまな言語が飛び交っています。

【本件に関するお問合せ先】麗澤大学 URL: <http://www.reitaku-u.ac.jp/>

〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1 アドミッション&PRセンター 担当：川原(かわはら)、大本(おおもと)

Email: pr@reitaku-u.ac.jp TEL: 04-7173-3030 FAX: 04-7173-3585